

エンジン買収契約締結

三井E&Sホールディングス(HD)はIHIグループの発電機器メーカーIHI原動機(東京・千代田)の大型船舶エンジン事業を買収する契約を結んだと発表した。同事業の買収は3月に基本合意を発表していた。買収完了は2023年4月1日を予定している。買収額は明らかにしていない。

IHIによると、大型船舶エンジン事業の売上高は100億円程度。三井E&S HDは主力の船舶エンジンでは国内シェア6割の最大手だ。経営資源を船舶エンジンや港湾クレーンなどの機械事業に集中し、経営を立て直す。艦艇事業は21年10月に三菱重工に売却した。商船事業はグループの三井E&S造船(東京・中央)が10月に常石造船(広島県福山市)の子会社になる予定で、造船業からの撤退を進めている。

工作機械、8月24.9%増

引いた。金属を高精度で切削する工作機械の引き合いが強まっている。EVの駆動装置「e-アックスル」やバッテリーなどの部品を加工する際に使う。航空・造船は42%減、半導体などの電気・精密は7%減だった。

EV向け投資は日本でも徐々に拡大しており、8月の国内の自動車向け受注は47%増の1335億円と3年3カ月ぶりの高水準となった。日工会

の担当者は「まだ国内の自動車業界全体が一斉に動き出したとは言えず、EV投資は拡大余地がありそうだ」と説明する。

2022年1~8月の受注額は前年同期比23.9%増の1兆1929億円となり、18年に次いで過去2番目の水準となった。日工会は22年通年の世界受注見通しを1兆7500億円とし、1000億円引き上げた。

延品出荷、8月4.7%減

日本アルミニウム協会(東京・中央)は8月のアルミニウム延品(板・押し出し類の合計)の出荷量が前年同月の比4.7%減の13万8071トンドったと発表した。6カ月連続のマイナスとなった。板類は5.1%減の8万6454トンドと5カ月連続で前年割れした。主要用途のアルミ缶材は7.2%減の3万2328トンドだった。前の出荷量が6.9%減と減ったことが響いた。

押し出し類は3.9%減の5万1617トンドと6カ月連続で前年割れした。主要用途の建設向けは0.1%減とほぼ横ばいだったが、自動車向けの出荷量が6.9%減と減ったことが響いた。

スズキ、印経営大学院と協定

スズキはインドの経営大学院2校と協定を結んだと発表した。新規事業開発も含め、同地で長期的に事業を運営するための戦略などを研究する。スズキは1982年にインドに進出し、乗用車市場で約43%のシェアを握る。脱炭素などへの対応が求められるなど環境が変化中の中、インド有数のビジネススクールと手を組んでスズキの将来の方向性を検討する。

インドの経営大学院のアーメダバード校とコジコデ校の2校と連携する。経営管理の研究と教育に強いアーメタバード校とは新規事業開発で手を組む。企業文化研究などに知見を持つコジコデ校とはスズキの40年間の事業活動を分析し、強みを明らかにしながら今後の事業の方向性を研究する。スズキはインドで他大学とも交流を進めてきた。インド工科大学ハイデラバード校とは2008年の設立以来、技術面で人材交流をしている。(大道鏡花)

ケミカルイノベーション&ソリューション

情報公開ページ KJCBiz 検索 広告
企画・構成 (株) 経済情報センター TEL: 03-3364-5121
(株) 日経エージェンシー



特殊エポキシ化合物「デナコール」

ナガセケムテックスはアルコール性有機酸をグリシジルエーテル化した特殊エポキシ化合物「デナコール」を展開。単官能から多官能タイプまで揃え、塗料粘着剤の架橋剤、繊維の表面処理剤、反応性希釈剤といった幅広い用途で使用されている。特に水溶性のエポキシ化合物を多くラインアップしており、VOCフリー化が可能で環境負荷が少い。

現在、播磨事業所の既存設備がフル稼働している中、NAGASEグループ会社と連携して新たな供給拠点を確保、国内2拠点体制を確立。新生産拠点は、すでに1ラインの増設が完了し稼働を開始している。

効果的な除菌消臭ができる「アクアネット噴霧システム」



中島産業のアクアネット噴霧システム「アクアネット1002」は、「ハンディ型噴霧」と「固定型噴霧」の両方を可能にした携帯タイプ噴霧システム。

ミクロの霧をあらゆる空間へハンディタイプのグリップは伸縮三脚機能を備え、グリップの三脚を開けば固定噴霧が可能。固定時には可動アームの角度を調整すれば、部屋全体にミストが広がり、グリップ部分を下に引くとシャフトが伸び、天井部などへの噴霧がしやすくなる。利用する液剤ボトルの交換も簡単。ノズル部分にはJAXA(独立行政法人宇宙航空研究開発機構)が持

中島産業株式会社
https://www.naxdv.com
TEL:045-315-7801

ナガセケムテックス株式会社
https://denacol.nagasechemtex.co.jp



ホタテの貝殻粉砕装置を開発中!

観光地・作業場 災害時の避難場所にも! オガクズ中で特別な菌は不要! トイレ室内は無臭が特長

新型バイオトイレ し尿が消える! 水も使わない!

処理能力の違いで機種は多くあります。(無電源型もあります)

きれいな快適! 仮設バイオトイレ

ログハウスタイプ SKM-50LOG DX 使用目安(1日)約80~100回

据置型 SW-26 使用目安(1日)約45~55回

生活排水処理システム

新浄化装置は生活雑排水(風呂、台所、洗濯)専用の浄化装置です。分けて処理することで下水道不要の住環境を提案します。

SDGs 持続可能な未来のために

知的財産権 特許19件 意匠33件 商標6件

受賞

- 環境大臣表彰
- 発明協会 会長賞
- 特許庁長官表彰
- 経済産業大臣表彰
- 第33回優秀環境装置表彰
- 2009年元気モノ作り 中小企業300社認定

駆除シカの分解処理装置

特徴

- ① 駆除シカ(駆除した動物)をそのまま投入できる
- ② 約2週間で太い骨を残し分解・消滅する
- ③ 完成品の一体型で移動が可能

2週間後のシカの姿(骨専用破砕機もあります)

お部屋のトイレ

- 臭わない
- トイレに見えない
- 1回1回捨てる必要無し

災害用 介護用 レジャー用 多目的マイバイオトイレ

使用目安(小便) 約200~240回

MBT-08L (男女用) 上部:木製 下部:プラスチックタンボール

ヒット商品 KBT-05 使用目安(1日)約5~6回

研究開発 正和 製造販売 正和電工株式会社

〒078-8271 北海道旭川市工業団地1条1丁目3番2号
TEL:0166-39-7611 FAX:0166-39-7612
http://www.seiwa-denko.co.jp E-mail seiwa@seiwa-denko.co.jp